



2018 ベリトランスサーバー証明書更新

接続検証手順

～VeriTrans2G(クレジットカード決済 Flex プラン)～

Ver. 1.1 (2018 年 3 月)

目次

1. 接続検証の手順.....	3
1.1. マーチャント様環境の準備.....	3
1.2. 検証環境への接続設定.....	3
1.2.1. Java/PHP/.NET をご利用の場合.....	3
1.2.2. Perl をご利用の場合.....	3
1.3. CA 証明書ストアファイルの更新(Perl/PHP をご利用の場合).....	4
1.4. 検証用取引の実行.....	4
1.5. 検証結果の確認.....	5
1.6. 検証結果のご連絡.....	5
2. 通信エラー時の対応について.....	6
2.1. .NET をご利用の場合.....	6
3. 本番運用における注意点.....	7
4. その他.....	7
4.1. 著作権、および問合せ先.....	7
4.2. 改定履歴.....	7

1. 接続検証の手順

MDK を利用している全てのシステムで、接続検証を行って頂きますようお願いいたします。

検証を行って頂く際は、本番サーバーと同等スペックのマーチャント様環境から疎通確認を行って頂いたうえで、最終確認として本番環境からの接続検証を行って頂くことを推奨いたします。

なお、Perl 版、PHP 版の MDK をご利用のマーチャント様は、CA 証明書ストアファイル (vsign_cli.cer) の更新が必要です。この更新は、ベリトランスサーバー証明書が更新される前に、必ず本番サーバーに適用して頂く必要があります。接続検証と併せて本番サーバーへの適用を必ず実施して頂きますようお願いいたします。

1.1. マーチャント様環境の準備

マーチャント様が検証を行う環境は、本番サーバーと同等の環境のご用意をお願いいたします。

また、最終確認のために本番サーバーでの検証も行って頂きますようお願いいたします。

- ✓ OS、ミドルウェア、プログラミング言語環境のバージョン等が同一のサーバーをご用意ください。特に、SSL 通信に関連する設定が本番と同じであることをご確認ください。
- ✓ マーチャント様の検証サーバー環境では発生しなかった問題が、本番サーバーで発生する可能性もありますので、本番サーバーでも接続検証を実施してください。

1.2. 検証環境への接続設定

1.2.1. Java/PHP/.NET をご利用の場合

MDK 設定ファイルの接続先 URL を、ベリトランス検証環境の URL に変更してください。

下表に、各言語の設定ファイル名と変更箇所を示します。

開発言語	設定ファイル名	接続先 URL の変更	
Java	jpgwlib.properties	変更前 (本番環境 URL)	CCPS_HOSTS = https://fep2.veritrans.co.jp:443/ TRUSTED_HOSTS = fep2.veritrans.co.jp
		変更後 (検証環境 URL)	CCPS_HOSTS = https://sandbox.fep2.veritrans.co.jp:443/ TRUSTED_HOSTS = sandbox .fep2.veritrans.co.jp
PHP	jpgwlib.conf	変更前 (本番環境 URL)	GW_HOSTS = https://fep2.veritrans.co.jp:443/ TRUSTED_HOSTS = fep2.veritrans.co.jp
.NET	flexlib.conf	変更後 (検証環境 URL)	GW_HOSTS = https://sandbox.fep2.veritrans.co.jp:443/ TRUSTED_HOSTS = sandbox .fep2.veritrans.co.jp

1.2.2. Perl をご利用の場合

Perl 版の MDK をご利用の場合は、検証に利用するサーバーの hosts ファイルに、一時的にベリトランス検証環境の IP アドレスとホスト名を追加してください。

開発言語	変更ファイル名	hosts ファイルへの追加内容
Perl	/etc/hosts	210.239.44.149 fep2.veritrans.co.jp

1.3. CA 証明書ストアファイルの更新(Perl/PHP をご利用の場合)

CA 証明書ストアファイル(vsign_cli.cer)の最新版を、サポートページからダウンロードし、更新してください。
 ファイルのパスは、MDK 設定ファイルに以下のように指定されています。マーチャント様の環境により異なりますので、正しいパスをご確認ください。

開発言語	MDK 設定ファイル名	パス指定の例
Perl	ccbsx.conf	CERT_FILE = ./vsign_cli.cer
PHP	jpgwlib.conf	MDK_RESOURCE = /usr/local/vtfmdk/mdk/conf CERT_FILE = vsign_cli.cer

サポートページの URL: https://www.veritrans.co.jp/trial/2g/faq/ssl_certificate_2g.html

- ◇ ご登録済みのメールアドレスでログインしてください。
- ◇ 未登録の方、メールアドレスをお忘れになった方は、お申込みボタンより再度登録を行ってください。

1.4. 検証用取引の実行

ベリトランス検証環境に取引要求を送信してください。

- ✓ SSL 通信が成功することの確認が目的のため、取引要求の種類は問いません。
- ✓ 本番マーチャント、テストマーチャントのどちらのモードでも実行可能です。
 - ◇ ベリトランス検証環境は、本番取引が実行できるように設定しています。そのため、本番マーチャントの設定で取引要求を送信した場合、コマンド(機能)によっては実際に与信枠が確保され、売上が成立しますので、必ず取消を行って頂きますようお願いいたします。
 - ◇ テストマーチャント設定で実行する場合は、以下の情報をご利用ください。

テスト用マーチャント情報	
マーチャントシークレット	test-bsf
マーチャント認証鍵	83e5f7d3522fedee45df9b177d0e079534c655d1

※MDK 設定ファイルの設定方法は、各開発言語の開発ガイドを参照して下さい。

テスト用クレジットカード番号	
VISA	4111111111111111
Master	5555444455554442
	5555555555554444
JCB	3528000000000007
	3528000000000015
	3528000000000023

1.5. 検証結果の確認

取引要求がベリトランス検証環境に向けて送信されており、SSL 通信が正常に行われたことをご確認ください。

- ✓ MDK のログに出力されている接続先 URL が、ベリトランス検証環境の URL であることをご確認ください。
- ✓ 取引要求に対し、ベリトランス検証環境の決済サーバーからの応答が正常に受信できることをご確認ください。
 - ◇ mstatus が「success」の場合は、SSL 通信が確立できているためテストは成功です。
 - ◇ mstatus が「success 以外」の場合、検証環境との接続に失敗している可能性があります。
 - 要求パラメータの問題によるエラーで決済サーバーからの結果を受信できている場合は、SSL 通信自体は成功していることが確認できますが、念のため mstatus が「success」になるように要求パラメータを調整のうえ、再実施をお願いします。
 - ◇ 接続に失敗した場合は、MDK の出力ログをご確認のうえ、原因の調査をお願いいたします。「2.通信エラー時の対応について」を併せてご参照ください。
 - ◇ OS やミドルウェアのログも合わせてご確認ください。例えば、PHP の場合は WEB サーバ (apache のログ等) に何らかのエラーが出力されている場合がございます。

1.6. 検証結果のご連絡

検証の状況を弊社でも確認させていただきますので、検証が終わりましたら、以下の方法で結果をご連絡いただきますよう、お願いいたします。

- ✓ 検証結果送信用フォームの URL を別途メールにてお知らせいたしますので、その URL にアクセスし、画面に表示される指示の通りに情報を入力して最後に送信ボタンを押してください。
 - ◇ 以下、ご入力いただく項目の一部になります。
 - ・ 本番用マーチャントシークレット／検証時マーチャントシークレット
 - ・ 検証実施担当者の氏名、メールアドレス
 - ・ 検証時サーバーの接続元グローバル IP アドレス
 - ・ 取引 ID
 - etc.

2. 通信エラー時の対応について

通信エラーが発生した場合、最初に以下の3点についてご確認ください。

- ✓ 検証環境に接続するためのシステム要件(TLS1.1/1.2 での通信)に対応しているか
- ✓ 下表に示すベリトランス検証環境との通信が、マーチャント様のネットワークで許可されているか

IP アドレス	ホスト名
210.239.44.158	sandbox.fep2.veritrans.co.jp
(210.239.44.149) ※	(fep2.veritrans.co.jp) ※

※Perl 版 MDK ご利用の場合

- ✓ 「1.2 検証環境への接続設定」「1.3 CA 証明書ストアファイルの更新(Perl/PHP をご利用の場合)」に記載のとおり
に正しく設定を行っているか。

エラーの原因が分からない場合は、MDK ログと以下に示す情報を添えて、テクニカルサポートまでお問い合わせください。

- ✓ プログラミング言語のバージョン
- ✓ サーバーの OS バージョン
- ✓ PHP、Perl をご利用の場合は、OpenSSL のバージョン

なお、.NET をご利用の場合は、ご利用の Windows サーバーに、ベリトランスサーバー証明書のルート証明書がインストールされていない可能性がありますので、次の内容を併せてご確認ください。

2.1. .NET をご利用の場合

Windows のルート証明書ストアに、以下のルート証明書が格納されていない場合は、WindowsUpdate を行っていただくか、手動でインポートして下さい。

- ルート証明書(DigiCert Global Root CA)のダウンロード URL
<https://www.digicert.com/CACerts/DigiCertGlobalRootCA.crt>

ルート証明書のインポートの後、以下の URL にブラウザからアクセスし、「DigiCert」のページが表示されればインポートは成功です。

<https://global-root-ca.chain-demos.digicert.com/>

3. 本番運用における注意点

接続検証完了後の本番運用におかれましては、以下の点にご注意ください。

- ✓ 「1.2 検証環境への接続設定」で実施した設定変更は、必ず元に戻してください。
- ✓ 1.2 以外のシステム変更につきましては、本番環境にも適用が必要です。
 - 本番サーバーで検証を行った場合は、接続先 URL 以外はそのままの設定で本番運用を行ってください。
 - 本番サーバーで検証を行わなかった場合は、接続先 URL 変更以外のシステム変更について、必ず本番サーバーにも適用してください。
 - ◇ 「1.3 CA 証明書ストアファイルの更新(Perl/PHP をご利用の場合)」は必ず本番サーバーに適用してください。
この対応を行わないと、ベリトランスサーバー証明書が更新された時点で、弊社に接続できなくなり、決済サービスのご利用ができなくなります。

4. その他

4.1. 著作権、および問合せ先

[著作権] 本ドキュメントの著作権はベリトランス株式会社が保有しています。

Copyright (c) 2018 VeriTrans Inc., a Digital Garage company. All rights reserved.

[お問い合わせ先] ベリトランス株式会社 テクニカルサポート SSL-SHA2 関連窓口

電子メール: ssl-sha2@veritrans.jp

4.2. 改定履歴

2018/2/22 : Ver1.0 リリース

2018/3/5 : Ver1.1 リリース

1.2.2 の IP アドレスの誤りを修正

1.3 のサポートページの URL の誤りを修正